

ロジックモデル⑤

課題「肥満の人の割合の地域内格差の縮小」

担当：Aグループ
(健康格差の縮小グループ)

- 重点施策1 働き盛り世代の健康づくりの習慣化に向けたセルフマネジメントの推進
- 重点施策2 戦略的な普及啓発・広報強化

インプット(やるべきこと)		インプットに求める成果	アウトプット	アウトカム(達成したいこと)		インパクト
行政	関係団体			短期アウトカム	長期アウトカム	
・うじスマートウェルネス推進事業(健康データ・地区分析)の実施	・重点地域での健康課題共有のためのワークショップの実施(地域団体・行政)	地域の健康課題を市民、地域、行政が共有できる。	・ワークショップの実施回数(重点地域) ・新規事業数(重点地域)	★「運動週2回以上未実施の人の割合」の地域格差の縮小 ★「歩行1日1時間未満の人の割合」の地域格差の縮小	★「肥満の人の割合(壮年後期男性・壮年後期女性)」の減少 ★「メタボリックシンドロームの該当者・予備群」の減少 ★「BMI25以上の人の割合」の地域内差の縮小	★健康寿命の延伸 健康格差の縮小
・特定健診・保健指導の実施率向上対策(重点地域での広報強化) ・企業との連携により、職域での健康づくりを支援(重点地域で実施)	・健康経営の推進による社員への普及啓発(企業) ◆健診(検診)を受診しやすい環境の整備(企業)	健康への意識が高まり、定期的に健診を受け、健康管理をしている人が増える。	・特定健康診査の実施率(重点地域) ・特定保健指導の実施率(重点地域)			
・企業へのウォーキングアプリの参加勧奨(重点地域) ・ウォーキングアプリ登録会、健康測定会、スポーツイベントの開催(重点地域)	・宇治市健康づくり・食育アライアンス等の地域団体によるスポーツイベント等の実施(重点地域)	アプリ等をきっかけに運動習慣の醸成につながる。	・ウォーキングアプリの登録者数(重点地域) ・ウォーキングアプリで歩数が増加した人の割合(重点地域) ・スポーツイベント等の開催回数(重点地域)			

- ★ 計画の目標項目として設定している項目
※1 健康づくりに関するアンケート(令和5年)
※2 人口動態統計 死因別死亡割合(令和4年)

令和6年度～榎島圏域を重点地域とし、重点的にアプローチしているが、今後の榎島圏域での「肥満・メタボ対策など」の行政・関係団体の取組内容について、グループワークにて検討